

岩手県立高田高等学校 広報



令和4年度第33号

八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造



募金の贈呈

「のくぜんたかたお弁当届けようプロジェクト」への募金贈呈
十二月一日(木)、本校一学年の代表生徒三人が市内高田町の陸前高田アムウェイハウスまちの縁側を訪れ、「のくぜんたかたお弁当届けようプロジェクト」実行委員会の事務局を務める子育て支援NPO法人の「きらりんきつず」の代表理事伊藤昌子様へ、募金で集めた二万六千七百五十円を贈呈しました。
このプロジェクトは、子育て世帯へ弁当を無料で提供するというものです。この日贈呈された募金は、本校における総合的な探究の時間を中心とした探究活動であるT×ACTION PROJECTにおける一学年の「ものづくりチーム」の生徒達が、十一月五日(土)の「べじ

十二月五日(月)、防災マイスターの活動を展開する本校普通科二年三組の小野寺麻緒さんが、母校である陸前高田市立高田小学校の一年生に、幼い子どもが使う防災リュックの中身を一緒に考える授業を行いました。
小野寺さんは、中学一年の時に陸前高田市の防災マスター養成講座を受講して以来、同級生に講座の内容を伝える授業を行うなど防災への関心を高め、実践を積み重ねてきました。



高田小学校での防災の授業

たべるマーケット」に参加した際に、本校の出店に来店された皆様に協力を呼び掛けて集めたものです。
高田小学校で行った
防災を考える授業

今回の授業は、小野寺さんが、自身が中学在籍時に教わった、当時の高田第一中学校の校長先生で、現在は高田小学校の校長先生を務める熊谷広克様に、「幼い子ども達に防災の授業をしたい」と訴えたことで実現したものです。
授業は、小野寺さん自身が経験した避難所での体験を交えて東日本大震災津波のことを伝えたいと、何をしたらよいかと問いかけながら行われました。



二級小型船舶操縦士の
実技試験
十二月七日(水)、海洋システム科海洋科学コース三年の八人の生徒達が、二級小型船舶操縦士の実技試験を、市内広田町の大野湾で受験しました。

二級小型船舶操縦士免許を取得すると、海岸から五海里(約9km)までの海域で、総トン数二十t未満の船舶又は用途がスポーツやレクリエーションに限定された長さ二十四m未満のプレジャーボートの操縦ができるようになります。沿岸漁業やレジャーに最適な資格です。ただし、水上オートバイは操縦できません。
この資格を得るためには、身体検査を受けたうえで、学科試験と実技試験を突破する必要があります。
この試験の受験は、海洋科学コースにおける教習艇による操船で学んできた実技の集大成を示すものになります。
生徒達は、これまでの二年間に学んできた全てを出しきろうと、真剣に受験しました。



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



noteにおける本校のページにアクセスするQRコード



奨励賞受賞作品「チョコパフェドレス」



佐藤来成さん
ごめ
ます。

第九回学生ファッションデザイン奨励賞
今般、一般財団法人北岩手アパレル産業振興会主催で実施された第九回「学生ファッションデザイン」において普通科二年一組の佐藤来成さんが、奨励賞を受賞されました。おめでとうございます。ごめ